

県産材を活用した壁パネルの試作開発

Tokushima Prefectural Industrial Technology Center

岡部興業（株） 岡部 有佳

工業技術センター 生活科学担当 室内 聡子

1. 研究目的

象嵌加工やNCによる特殊表面加工など、特殊な技術を用いて付加価値のある新製品開発を行い、内装材壁パネルの試作開発を行った。

2. 研究内容



図1 割れ止め比較試験

県産杉の割れやすい原木輪切り材を利用し壁面材とするため、割れ止め剤について比較を行った。ポリエチレングリコール#1000の50%（体積）水溶液が良好な結果が得られた。

徳島県の象徴的な色である藍（青）色をテーマカラーとして、藍にゆかりのある「鉄紺」「藍色」「瓶覗き」の色について塗料を配合して近い色を指定し、白を「素色」とした（図2）。

各種藍色に塗装した丸材、角材ブロックを使い、壁面内装材の試作を行った（図3）。

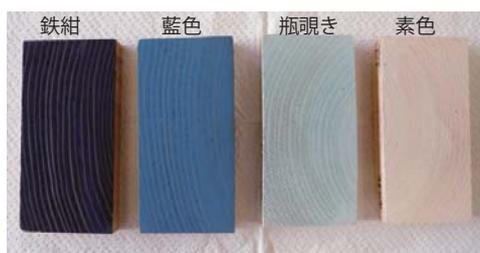


図2 テーマカラー4色



図3 試作したパネル（左：角材，右：丸太材）

網代風モザイクパネルの設計を行った（図4）。

3. 研究成果

原木輪切り材にポリエチレングリコールで割れ止め処理を行い、良好な結果が得られた。県産材を活用した角材パネル，丸太材パネルの試作開発を行い，網代風パネルの設計を行った。

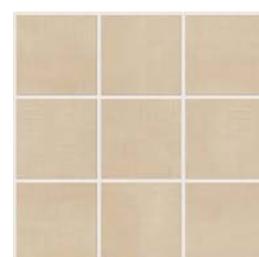


図4 モザイクパネル